

令和7年度 英語科及びデジタル科実施状況について

(別紙2)

金沢市立四十万小学校

①児童アンケート

(1)英語科(小学校6年生:令和8年1月実施) (%)

		そう思う	どちらかと言えば そう思う	どちらかと言えば そう思わない	そう思わない	無回答
問1	英語科の勉強が好きだ。	25.0	43.0	24.0	8.0	0.0
問2	英語科の勉強は大切だ。	67.0	27.0	1.0	5.0	0.0
問3	英語科の授業の内容が分かる。	47.0	37.0	13.0	4.0	0.0
問4	先生や友達に英語で質問することができる。	20.0	41.0	22.0	11.0	0.0
問5	先生や友達の英語の質問に英語で答えることができる。	28.0	41.0	18.0	14.0	0.0
問6	アルファベットの大文字が書ける。	72.0	20.0	6.0	1.0	0.0
問7	アルファベットの小文字が書ける。	71.0	23.0	4.0	3.0	0.0
問8	教科書やピクチャーディクショナリーの単語や英文を書き写すことができる。	44.0	35.0	15.0	5.0	0.0
問9	教科書の単語や英文を読むことができる。	34.0	33.0	23.0	10.0	0.0

(2)デジタル科(小学校1～6年生:令和8年3月実施)

		そう思う	どちらかと言えば そう思う	どちらとも言えない	どちらかと言えば そう思う	そう思うわない
問1	自分やみんなのことを考えてICTを使うことができる。	65.2	18.5	11.4	3.0	2.0
問2	生活の中で上手にICTを使うことができる。	62.0	24.4	8.4	2.7	2.5
問3	深く広く学習するためにICTを使うことができる。	64.0	20.7	10.6	3.0	1.7

②指導改善の具体策

【英語科】 ・英語で実践的にコミュニケーションをとる場を設け、子どもたちが人とかかわることの楽しさや、学習の成果を実感できるようにする ・学校のマスコットしじまんや校内放送、廊下の英語コーナーなど、身近な素材や場を活用することで、全校の児童にとってより英語が身近に感じられるようにする ・子どもたちが英語を用いることにより自信がもてるよう、IT機器の活用を工夫して、どの子も習熟できるようにする 【デジタル科】 金沢リフレクションアンケートの目標を、各学年に応じた具体的な言葉に置き換えて「四十万リフレクション」と設定した。令和8年度は、その目標を全職員で共通理解し、デジタル科推進リーダーの具体的な計画のもと共通実践で取り組むようにする。

③学校関係者評価

・デジタル科の学習について、情報モラルや情報リテラシー教育を充実させ、犯罪につながらないようにしてほしい。学校と家庭とが連携して、約束をきちんと守らせていくことが大切である。 ・「英語科の学習が好きだ。」の質問項目について、3分の1の児童が「どちらかと言えばそう思わない」「そう思わない」と回答している。中学校へ進学後、この回答がどう変化しているのか経年で見ていく必要があるのではないか。 ・英語への苦手意識を持ってしまわないように、小学校のうちに興味付けをしていく必要があるのではないか。
